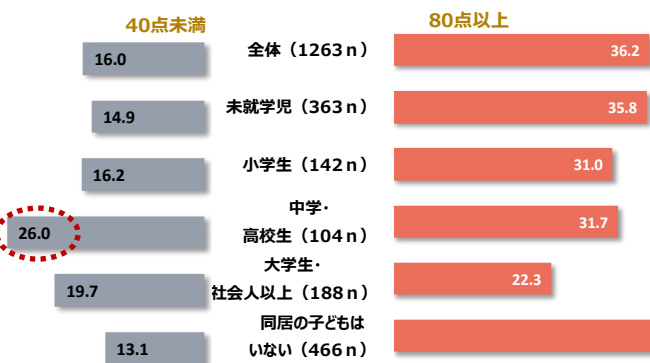


01 Woman's Trend

子どもの年齢別で見る“山あり、谷あり”の夫婦関係、危機のピークは中学・高校生の親世代 急に気に障りだす夫の性格、週に1回以上はイラッ

◆理想の夫を100点とするとあなたの夫は何点？（グラフ1）（%）



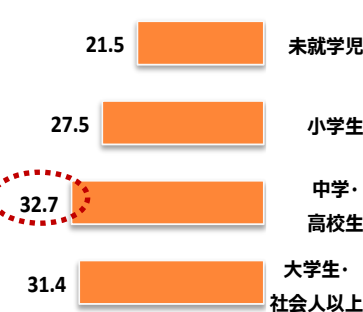
11月22日の「いい夫婦の日」にちなんで、既婚女性に「夫婦関係」について調査した。

理想の夫を100点として自分の夫の点数をつけてもらったところ、全体では80点以上～100点満点の高評価が36.2%だが、同居している子ども（末子）の年齢別に見ると、ある傾向が表れた。特徴的なのは「中学・高校生の母親」層。夫は「40点未満」とする低評価が、他の層に比べて7～10ポイント以上高い（グラフ1）。

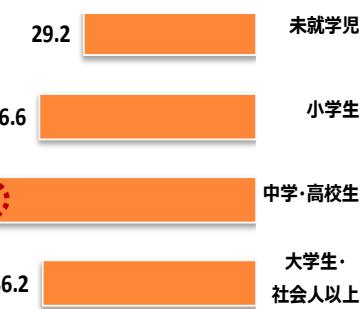
そこで、この「中学・高校生の母親」層に注目してみた。夫とのコミュニケーションに「やや不満＋不満」は38.5%。夫が話を聞いてくれない、会話がな、言いたいことが言えない、「ありがとう」「ごめんね」が言えない／言われないなどコミュニケーションに具体的な不満を訴えているのは「中学・高校生の母親」層がピーク（グラフ2～5）。さらに、「夫はストレスの原因だ」は46.2%（とてもそう思う＋半分くらいはそう思う）と、他の層に比べ10ポイント以上も高い（グラフ6）。

2018.10.3～10.8 リビングWeb・あんふあんWeb・シティリビングWebでのWeb調査 集計数：1263人 平均年齢：44.6歳／内訳：20代8.6%、30代30.9% 40代28.6% 50代19.1% 60代以上12.8% データは小数点1位以下四捨五入

◆夫は話をあまり聞いてくれない＋全く聞いてくれない（グラフ2）（%）

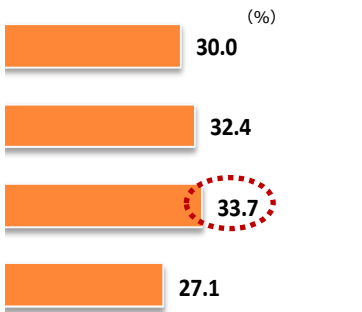


◆言いたいことをガマンしてしまう（グラフ4）（%）

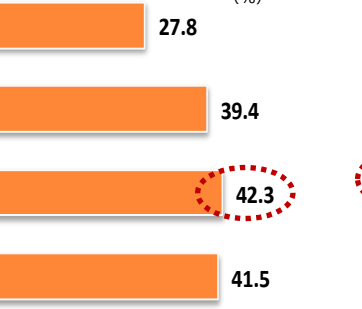


週に1回以上と頻繁に夫にイラッしているのは、「未就学児の母親」と「中学・高校生の母親」がともに6割台（グラフ7、8）。子どもに手がかかる未就学児母と中学・高校生母とでは、夫にイラッつくポイントが異なりそう。また、「中学・高校生の母親」層の夫婦ゲンカの原因のトップは「夫の性格」が46.2%で、他の層に比べて6～16ポイントとグッと高くなるのも興味深い（グラフ9）。この世代になって、「夫の性格」が急に気に障るようになる？

◆夫との会話があまりできていない＋会話がな（グラフ3）（%）



◆「ありがとう」「ごめんね」が言えない／言われない（グラフ5）（%）

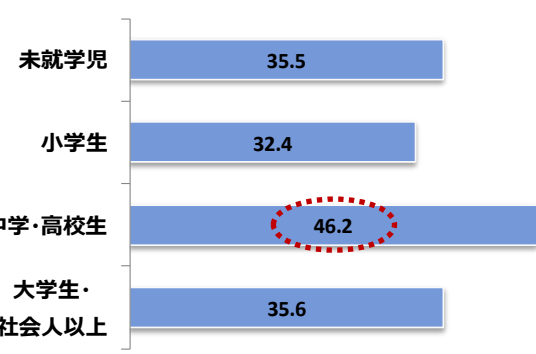


中学・高校生の母親層はアラフィフが約7割。思春期に突入した子どもの扱いに苦労するのに加え、自身の体調・精神面にも変化が訪れる時期。夫側には、男性更年期の影響もあるかもしれない。

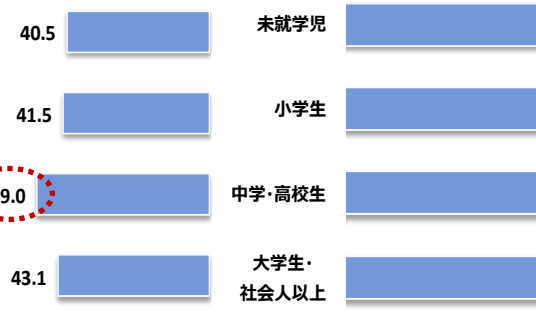
この世代が夫婦関係の危機のピークだが、これを乗り越え、コミュニケーションも改善方向に向かっていくようだ。

（所長 西 桂子）

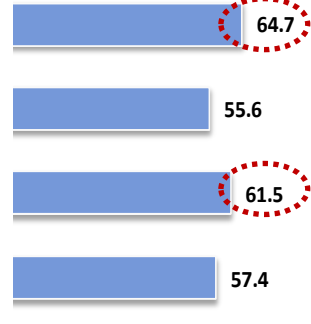
◆夫はストレスの原因だ（グラフ6）（%）



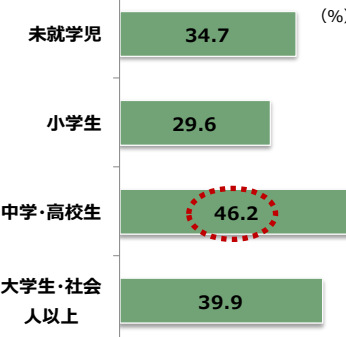
◆夫が自分にイラッとしていて感じる頻度が週1回以上（グラフ7）（%）



◆夫にイラッとする頻度が週1回以上（グラフ8）（%）



◆夫婦ゲンカの原因「夫の性格」同居末子別の比較（グラフ9）（%）



02 Working Woman's Real

【働くアラサーシングル女性の美意識】 自分史上最高“キレイ”は24.4歳！ ピークは過ぎたからこそ、攻めの美容

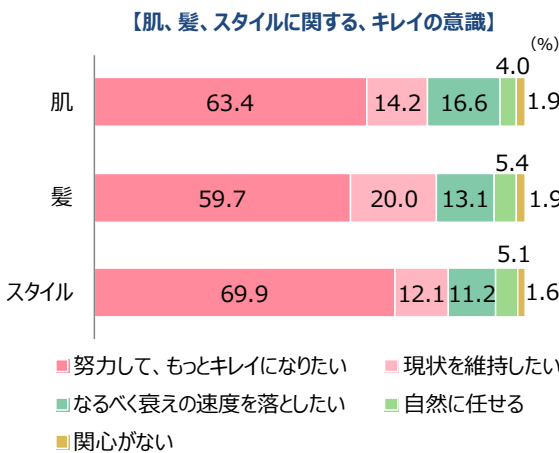
働くアラサーシングル女性に、自身の外見・内面を含めた総合的な「キレイ」のピークを聞いたところ、平均24.4歳！肌・髪など身体的な要素に限定するとピークはもっと早く、平均22.6歳と、多くの人ですでに曲がり角を感じていることが分かる。

それでも、肌や髪、スタイルは「努力して、もっとキレイになりたい」人が多数派。ピークは過ぎても（過ぎたからこそ）、守りに入らず「攻め」の美容を意識している。

また、「姿勢の美しさ」「立ち居振る舞いの美しさ」といった所作が、十分身に付いていないと感じている人は6割超。さらに、「ココロの余裕」「色気」「知性」といった、内面からにじみ出る要素をもっと身に付けたいとも感じている。

若さ・かわいさから、「大人のキレイ」への転換に向けて、美意識が高まる世代だ。

2018.6.12～6.24、全国の働く女性（25歳～34歳）を対象としたWeb調査 集計数：461



【現状に満足していないので、もっと身に付けたい要素】※複数回答、上位項目抜粋

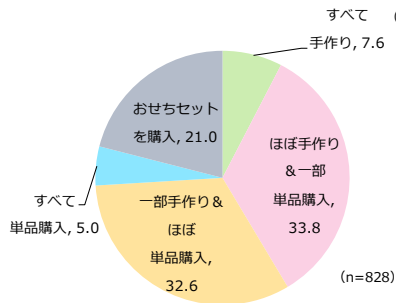
1位	姿勢の美しさ	62.9%
2位	ココロの余裕	62.7%
3位	色気	60.6%
4位	立ち居振る舞いの美しさ	60.1%
5位	知性	58.3%

03 Seasonal Data

おせち料理に関するデータはくらしHOWサイト「暮らしの歳時記と消費」に掲載中！

2018年のお正月におせちセットを購入した人は21%！ 50代以下に和洋中様々な味のおせち人気

【2018年のお正月に用意したもの】

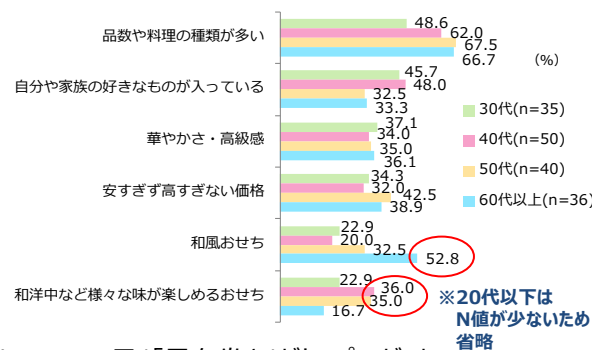


2018年のお正月におせち料理を用意した女性は56.8%。これは年代と共に増え、60代以上では77.7%に。

おせち料理を用意した人のうち、「すべて手作り」した人は7.6%、「おせちセットを購入した」人は21%で、「ほぼ手作り＆一部単品購入」「一部手作り＆ほぼ単品購入」がそれぞれ約3割とボリュームゾーン。

手作りしたおせちは「お煮しめ」「紅白なます」「黒豆」「栗きんとん」「田作り」、買ったおせちは「かまぼこ」「黒豆」「伊達巻き」数の

【おせちセット購入時に重視したこと】※上位6項目のみ



子「昆布巻き」がトップ5だった。

おせちセットを購入した人が購入の際に重視したことでは「品数や料理の種類が多い」「自分や家族の好きなものが入っている」「華やかさ・高級感」「安すぎず高すぎない価格」「和風おせち」が上位に。ただし「和風おせち」を重視するのは60代以上に多く、40～50代は「和洋中など様々な味が楽しめる」ほうがポイントが高い。おせちだからとしたり通りのメニューにこだわらず、自由に楽しもうという風潮の広がりが窺えた。

調査方法／Webアンケート 調査対象／「リビングWeb」「シティリビングWeb」「あんふあんWeb」ユーザー【回答者プロフィール】未既婚：独身27.7%、既婚72.3% 子どもの有無：いる60.3%、いない39.7% 調査期間／2018.10.10～10.14 有効回答数／女性1457人（平均年齢：45.1歳）